

質問 山内議員（自民 土岐市）令和8年7月2日（木）

3 バイオコークスの普及に向けた今後の取組について

答弁 知事

岐阜県におきましては、バイオコークスの普及促進に向けて、昨年度県庁内に研究会を設置し、石炭コークスの代替としての利用可能性や環境負荷の低減効果などについて、企業による実証も踏まえて研究を行い、今年3月に報告書として公表したところでございます。

この報告書を踏まえ、4月以降、政府・与党に対し、バイオコークスを「自立国産エネルギー」として明確に位置付けるとともに、国のエネルギー基本計画や脱炭素に向けた戦略等に反映していくことなどを要望してまいったところでございます。

他方、昨年度の報告書においては、コストの低減や原材料供給体制の整備など今後の普及に向けた課題も示されており、バイオコークスを社会実装していくためには、これらの課題解決が不可欠となります。このような課題克服の必要性についても、今回の要望を通じて、国と認識を共有したところでございます。

そこで、今年度始めました研究会では、実装・普及に向けた研究へとフェーズを一段引き上げてまして取り組んでいるところでございます。具体的には、研究会に、新たに国内有数の住宅・木材系企業や金融機関、自動車メーカーなど様々な関係者に加わっていただき、普及に向けた課題解決に向け、「需要」「供給」「コスト」の三つの観点を軸に研究を深めていくこととしているところでございます。

まず一つ目の「需要」の創出に関しましては、今般の中東情勢をきっかけに、石油などのエネルギーの安定的な確保の難しさが再認識されました。そこで、昨年度研究を行いました石炭コークスの代替以外の用途への展開を検討することとし、具体的には、石炭ではなく重油や天然ガスなど他の化石燃料の代替利用の可能性について検証を行ってまいります。

次に、原材料の「供給」につきましては、森林資源等のバイオマス供給の拡大に向け、原材料を確保するための環境整備について検討を進めます。具体的には、切り捨て間伐材など、現在、利用されていない森林資源を搬出するために必要なインフラ整備の条件や採算性のある取引価格の水準、また、これらを踏まえた県内でのバイオコークスの製造に適した場所などについて研究することとしております。

最後に「コスト」に関しましては、まず、牛ふん堆肥バイオコークスの製造コストを押し上げる原因となっております「乾燥プロセス」の効率化について研究を進めます。加えて、石炭コークスなどとのコスト比較について、取引価格に加えまして環境価値なども含めたトータルでのコストを比較・可視化してまいります。

こうした研究を通じて、バイオコークスの社会実装に向けた課題について解決方法を提示していくとともに、研究会の成果も踏まえ、バイオコークスを国策として推進するよう、引き続き国に対し働きかけを行ってまいります。

担 当 課 未来創成課

電話番号 058-272-8148

メー ル c11179@pref.gifu.lg.jp